

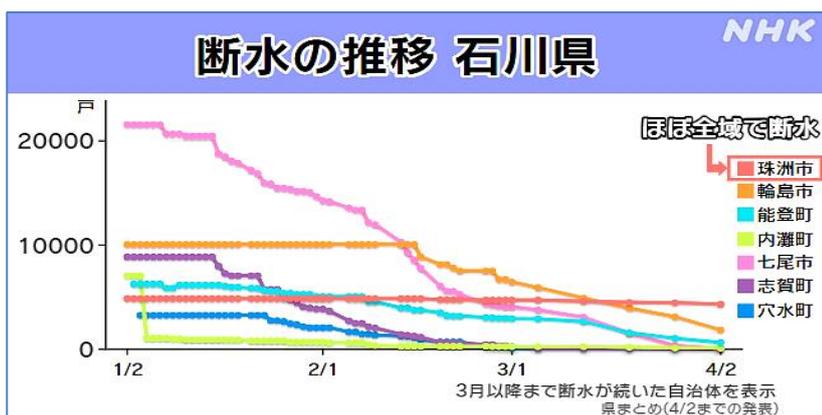
熊地区 防災のお知らせ



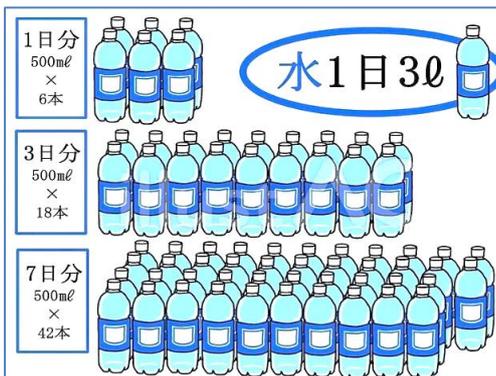
『能登半島地震から3ヶ月半 断水に備えよう』

能登半島地震から4月15日で3ヶ月半、関連死を含め245人が亡くなり、今も8109人の方たちが避難生活をしておられます。

珠洲市など5市町では7860戸で断水が続いています。通水した地域でも自宅に引き込む配管、下水管修理が難航するなか、多くの被災者が不自由な生活をおくっています。



必要な水の量



今回の地震で起きた『断水』にどう備えていくか考えてみましょう。

①日ごろから水の備蓄に!

《飲料用水の備蓄》= ペットボトル、専用水槽

・ 飲食、飲料 ・ 薬を飲む ・ 歯を磨く ・ ペット用

※ 井戸水は飲料水になりません。生活用水です。

《生活用水》= 水槽、バケツ

・ 洗濯 ・ トイレの水 ・ 風呂用 ・ 食器を洗う



②給水所から水を運搬する容器!

・ ポリ袋 ・ バケツ ・ ペットボトル(リュックサック含む)

③新聞紙の利用!

・ 新聞紙は吸水、消臭力があるため、断水時に「即席消臭トイレ」の吸収剤、吸着剤に使用できます。

④断水中でも口の中は清潔に!

・ 口の中の不衛生は、インフルエンザ、肺炎のもと、口から入ります。最小限の水で、うがい、歯をきれいにぬぐうだけでも効果はあります。

⑤『水のない生活』をイメージして、

家族や仲間ですらいろいろな工夫を話し合ってみましょう。